

コースコード：IA-AAIA

税込価格：330,000円 (税抜価格：300,000円)

日数：2日間

ここに注目!!

- ・「AIを監査する」だけでなく「AIで監査する」スキル：AIのリスクを評価するだけでなく、生成AIやLLMを監査ワークフローに統合し、監査そのものを効率化する手法を学びます。
- ・グローバルで通用する高度な証明：CISA等の上位資格保持者を対象とした「上級（Advanced）」資格であり、保有することでAI監査のプロフェッショナルとしての市場価値が飛躍的に高まります
- ・実践的なユースケース：大規模言語モデル（LLM）や予測AIなど、現代のビジネスで直面する具体的な事例に基づいた学習が可能です。

受講対象者

このトレーニングはこのような方におすすめです。

- ・AI導入が進む組織において、AIのリスク評価やガバナンス構築を担うIT監査人・アドバイザー
- ・AIを活用して監査業務の自動化・高度化を図りたい実務責任者
- ・CISA、CIA、CPA等の資格を保有し、AI領域への専門性を広げたい中～後期キャリアの専門家
- ・組織のAI戦略に対し、コンプライアンスと信頼性の観点から助言を行う立場の方

前提条件/前提知識

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

- ・必須の前提資格：認定資格の取得には、以下のいずれかの保有が必須となります。
CISA（公認情報システム監査人）
CPA（日本、米国、オーストラリア、カナダの公認会計士）
CIA（公認内部監査人）
ACCA / FCCA
- ・前提知識：IT監査またはITアドバイザーに関する実務経験、およびAIに関する基礎的な関心・知識を有していること。

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

- ・AIガバナンスの確立：組織の戦略目標に沿ったAIポリシーや倫理基準の策定を支援・評価できる
- ・高度なリスク評価：データポイズニングやプロンプトインジェクションなど、AI特有の脅威を特定し、統制を設計できる。
- ・AIライフサイクルの監査：設計からデータ収集、モデル構築、運用、廃棄に至る全プロセスの妥当性を検証できる。
- ・監査プロセスの最適化：AIツール（LLM、エージェント等）を駆使して、ログ収集や分析などの監査業務を効率化できる。

アウトライン

領域 1 . AIガバナンスとリスク

AIの基礎知識から、組織レベルでの戦略策定、リスク管理、データプライバシー、および法的・倫理的枠組みまで、ガバナンスの全体像を習得します。

A. AIモデル、考慮事項、要件

1. AIの種類 / 2. 機械学習とAIモデル / 3. アルゴリズム（およびその他の考慮事項） / 4. AIライフサイクルの概要 / 5. ビジネス上の考慮事項

B. AIガバナンスとプログラム管理

1. AI戦略 / 2. AI関連の役割と責任 / 3. AI関連のポリシーと手続1 / 4. AI関連のポリシーと手続2 / 5. プログラム評価尺度

C. AIのリスク管理

1. AI関連のリスク特定 / 2. リスクアセスメント / 3. リスクモニタリング

D. プライバシーおよびデータガバナンスのプログラム

1. データガバナンス / 2. プライバシーの考慮事項 / 3. プライバシー規制に関する考慮事項

E. AIに関する主要なプラクティス、倫理、規制、標準（AIに関連する標準、フレームワーク、規制

1. 倫理的考慮事項

領域 2 . AI運用

AIの開発・導入プロセスにおけるデータ管理、ライフサイクル、変更管理、テスト手法、およびAI特有のセキュリティ脅威への対応を学びます。

A. AIに特化したデータ管理

1. データ収集 / 2. データ分類 / 3. データの機密性 / 4. データ品質 / 5. データのバランス調整 / 6. データの不足 / 7. データセキュリティ

B. AIソリューション開発の方法論とそのライフサイクル

1. AIソリューション開発ライフサイクル / 2. プライバシーとセキュリティの設計段階からの考慮

C. AIに特有の変更管理

1. 変更管理における考慮事項

D. AIソリューションの監督

1. AIの主体性

E. AIソリューションのテスト手法

1. 従来型のソフトウェアテスト手法 / 2. AI特有のテスト技法

F. AIに特有の脅威と脆弱性

1. AI関連の脅威の種類 / 2. AI関連の脅威統制

G. AIに特有のインシデント対応管理

1. 準備 / 2. 特定と報告 / 3. 評価 / 4. 対応 / 5. インシデント事後評価

領域 3 . AI監査ツールと技法

実際の監査実務における計画策定、証拠収集、データ分析、および生成AIを活用した監査プロセスの高度化・自動化手法を習得します。

A. 監査の計画と設計

1. AI資産とコントロールの特定 / 2. AIコントロールの種類 / 3. 監査のユースケース / 4. AI活用のための内部トレーニング



B. 監査テストおよびサンプリング方法

1. AI監査の設計 / 2. AI監査のテスト手法 / 3. AIサンプリング / 4. AIテストの結果

C. 監査証拠の収集技法

1. データ収集 / 2. ウォークスルーとインタビュー / 3. AI収集ツール

D. 監査データの品質とデータ分析

1. データ品質 / 2. データ分析 / 3. データレポート

E. AI監査の出力とレポート

1. レポート / 2. 監査のフォローアップ / 3. 品質保証